

魚の城下町

みんなが主役のまち

町か-4R-9



公式Facebook



公式Instagram



NO.302

2020

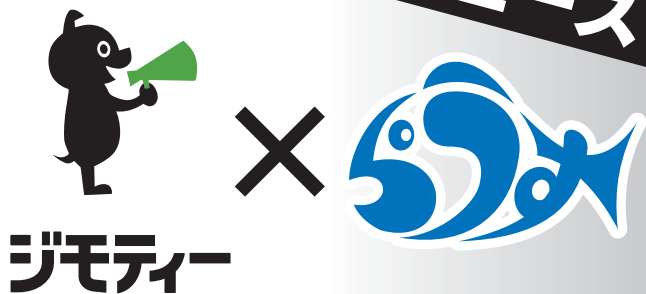
9

防災について学びが ～羅臼小学校で1日防災学校実施～

今月の主な話題

- ☑ 羅臼町とシモテナーが協定を結びました 2
- ☑ 無意識に野生動物へ餌付けしていませんか 4
- ☑ ふるさと ー元島民が語る 当時の記憶ー 12





羅臼町とジモティーが 協定を結びました！

ジモティーとは…
格安で欲しかったものを入手できる地域のweb版情報掲示板。利用料や手数料は一切不要！だれでも簡単に地元の情報を発信したり、手に入れたりできるサイトです。

この度、羅臼町は株式会社ジモティーとリユース活動の促進に向けた連携と協力に関する協定書を締結しました。
この協定は、町民皆様にジモティーの利用をしてもらうことでリユース意識の向上を図り、ごみの減量化や循環型社会の形成に寄与することを目的としています。

今回の協定で、羅臼町がジモティーと連携して町民へのジモティーの周知などを実施していきます。また、実証事業として、左記のとおりインターネットを使えない方を対象に、役場職員がご自宅まで伺い、眠っている不要品をジモティーに掲載するサービスを展開いたします。

① リユース意識向上のための町民への周知啓発

町政だよりや広報誌を始め、羅臼町HPや羅臼町公式SNSなどを利用し、積極的にジモティー活用を周知を行うことで、町民皆様にリユース意識が根付いていくよう努めて参ります。また、今後様々な媒体を通してジモティーサイトの利用促進を図っていく予定です。この周知活動を行うことで、町民の皆様が主体的に地域内で不要品を譲渡する基盤が生まれ、ごみの減量化やリユース促進に繋がっていくと考えております。



② ネット未利用者のための 使用可能な粗大ごみ等をリユースする実証事業

高齢者の方など、インターネットを使うのが少し苦手な方にも利用していただくために、掲載をご希望の方であれば役場環境生活課までご連絡をいただければ、職員が直接伺って査定を行い、サイト掲載可能と判断した品物については写真撮影や仕様の確認を行い、羅臼町アカウントからサイトに掲載いたします。

皆様のご自宅に眠っている「もったいない物」を有効活用させていただきます。積極的にご利用をお願いいたします。



③ 廃棄物の中から使用可能な粗大ごみ等をリユースする実証事業

羅臼町清掃センターに収集（持ち込みを含む）された物の中から、使用可能な品物を選別し、ジモティーに掲載可能と判断した品物について、羅臼町アカウントから掲載いたします。これにより、リユース対象範囲が広がり、更なるごみの減量化が期待できます。



②及び③の事業を利用するにあたっての注意点

②及び③の共通の注意点

- ・羅臼町アカウントからの掲載物については、基本的に「無償譲渡」とします。
- ・サイトへの掲載期間は6か月間とします。
- ・引き渡し対象者は、引き渡し指定場所まで直接引き受けに来られる方のみとします。
- ・サイト掲載中における引取希望者との連絡及び調整は役場環境生活課が行います。
- ・引き渡し者の決定は、出品ページよりお問い合わせいただいた方の先着順とします。（※電話やHPメール等での連絡は対象外）
- ・引き渡し場所については、役場環境生活課指定の場所とします。（基本的に役場庁舎でのお引き渡し）

②の事業についての注意点

- ・査定の結果、掲載不可であると判断した物品については、通常の廃棄物として所有者に処分していただきます。
- ・掲載期間中の物品の保管場所については、所有者に現状のまま保管していただき、譲渡が決定次第、指定日時に担当者が譲渡場所へ移動します。
- ・サイト掲載期間中に譲渡が決まらなかった場合、町政だより等に引取希望者募集の記事を掲載します。但し、それでも譲渡が決まらなかった場合は、通常の廃棄物として所有者に処分していただきます。

③の事業についての注意点

- ・物品の所有者（廃棄した人物）に了承を取って掲載します。
- ・掲載したものが譲渡にならない可能性があるため、掲載する品物全てに証紙を貼付けしていただきます。

②及び③の事業をご利用いただくにあたり、右記の他にも注意点がいくつかございますので、詳しくは羅臼町HPを参照ください。



ジモティー羅臼町役場環境生活課出品ページはこちら



羅臼町HPのジモティー関連ページはこちら

無意識に野生動物へ 餌付けしていませんか？

●餌付けとは

餌付けと給餌は異なります。野生動物へ人間が好意的に餌を与えること、餌を用いて野生動物を呼び寄せ撮影することのほか、コンビニ袋の中の食べカスや空き缶の残り、船上や浜から海へ捨てた魚のザツパ、河川での魚の内臓処理などの不法投棄も野生動物がつかれば、どの行動も餌付けとなります。

みなさんが普段の生活で何気なくしていることが野生動物への餌付け行為となり、人馴れした野生動物を創りだす可能性があります。人馴れした野生動物によって直接的または間接的に攻撃をつけることに繋がるかもしれません。

今一度、ご自身の行為を思い返しながらか、この記事をご覧になり、野生動物の餌付けを無意識に行ってしまったていないか確認し、人間にとつても動物にとつても悲劇を生まないために考えてみませんか。そして、世界に誇れる、知床世界自然遺産地域に相応しい『羅臼町』にしませんか。

給餌とは

主に希少種に対して保護事業として必要最低限で餌を与えること。ただし、一般の方が餌を与えることは給餌に該当しません。

●野生動物の生息地の決め方

野生動物は、「生息数の増加」、「森林伐採」、「餌資源の減少」、「繁殖」などの自然現象や人間活動に起因して生息地が変化します。人間と同様に、より適した生息地を求めて移動し、時には縄張り争いをします。生息地を優位に選択できるのは力の強い野生動物です。多くの野生動物は人間を恐れています。縄張り争いに負けた野生動物は、危険をおかして人間の生活圏に入り込む場合があります。人間の生活圏で見かけるヒグマ、エゾシカ、キタキツネなどはそれに該当している可能性が高いです。

人間の生活環境は野生動物にとって共存するためには危険で劣悪な環境と言えます。ただし、人間の生活圏が比較的的安全と認識してしまえば、生息するようになります。一方で、ツバメやオセグロカモメなどが小さい野生動物は、外敵から身を守るために人間の生活圏で生息することから、優良な環境と言えます。また、餌付けされた野生動物にとっては、人間の生活圏を餌が安易に得られるという最高の環境と認識し、そこにとどまり、周辺を徘徊するようになります。住宅・番屋・加工場・漁港・道路上などで見かける野生動物は、餌が近くにあることを理解したうえで生息しています。

●餌付けによる野生動物への影響

餌付けによる野生動物の影響は様々です。例えば、自ら餌を捕ることができなくなる、餌付けされた種の生息数増加に伴う生態系への悪影響、渡りや移動の時期の変化、集中分布することによる感染症の発生・蔓延・拡散などがあげられます。

● 餌付けによる野生動物と人間の関係

野生動物は人間が出したゴミの臭いを感じ取り、時にはそのゴミを餌とします。人間の食べ物やペットフードなどは自然界にある餌より味が濃く、栄養価も高いものが多いため、野生動物にとって刺激のかつ最高級のごちそうとなり得ます。

人間のゴミが良いものと理解すると人間の生活圏に簡単に出没して、人馴れをしていき(写真1)、次第に行動が大胆になっていきます。その結果、自動車と衝突事故をまねき、最悪の場合は重大事故につながることもあります。

また、餌が人間の生活圏にあり、野生動物の欲が警戒心を上回ると、住宅へ侵入するだけでなく、人間に攻撃をして奪おうとするようになります。



写真1. 道路でくつろぐキツネ

● 羅臼町で実際にあった野生動物の影響や被害

野生動物による被害は直接的な被害と間接的な被害があります。直接的な被害は、住宅や加工場を荒らされる、人間を攻撃するなどがあげられます。間接的な被害は、餌付けにより特定の生物が集中分布することで騒音、悪臭、不衛生、糞尿による工作物の腐食が発生するなどがあげられます。羅臼町における被害例は次のとおりとなります。

ヒグマ

・人間が投棄したゴミを食べ(写真2)、さらに餌を求め人間の生活圏を徘徊したため、安全を考慮して有害捕獲された。

・魚のザツパを浜に投棄したことが原因で、その場所に滞在したため安全を考慮して有害捕獲された。

キタキツネ

・市街地で生息しているキタキツネが買物袋や魚を持っている人間から、餌を奪おうとし攻撃した。
・昼夜問わず歩いているとキタキツネが後ろをつけてくる。

・餌付けされたことよって道路に出没するようになり、自動車と衝突した。

鳥類

・ゴミの出し方が不適切のため、カラスがゴミ袋を破り散らかす。
・オオセグロカモメがエサを容易に確保できる場所で集中分布したことによる糞や騒音などの被害(写真3)が発生した。



写真2. 有害捕獲したヒグマの胃から出てきた人間が出したゴミ



写真3. 温水プールの屋上で多数のオオセグロカモメが営巣し、巣作りのためコーキング材をはがし、その隙間に雨水が流れ込み、染み出している様子



STOP! えさやり

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザ

ヘルス
チェック

毎年秋から冬にかけてインフルエンザが流行し、備えとしてワクチンの予防接種が行われていますが、今年の冬にはインフルエンザと新型コロナウイルス感染症が同時に流行する可能性があることが報じられています。

今期はインフルエンザの受診者数や入院患者数が過去2年に比べ減ったと言われていたのですが、15-59歳ではICU利用と人工呼吸器使用数・割合は過去2シーズンより高い傾向がありました。インフルエンザ予防にもまだまだ注意が必要です。



インフルエンザと新型コロナウイルス感染症が同時に流行すると、発熱などの症状だけでは鑑別が難しいとも言われ、医療機関に大きな負担がかかります。対応策としてはインフルエンザの予防接種が勧められています。

羅臼町でも毎年65歳以上の方には、インフルエンザワクチン接種の助成を行い、流行の防止に努めています。皆さんもワクチンの接種他、いつも以上に「3密」の回避、換気、手洗い、マスクの着用などの取り組みを続けてください。少し意識し忘れていた方は、新しい生活様式の実践をお願いします。

羅臼町役場 保健福祉課 TEL 87-2161

子育て情報ひろば ~すくすく~

ありんこは 月~金
9:30~11:30まで
火・水・木は午後も開放!



お腹の赤ちゃんとりくとくん



れんくんとさくらちゃん



たおちゃん

図書館と「すくすく広場」の
コラボで「絵本作り」が始まり
ました。
お腹の赤ちゃんや絵本をまだ
手にしていないお子さんへママ
からのプレゼントです。

★1冊が贈る1冊の絵本★

図書館の司書さんが 絵本キットを用意してくれます。のりで貼りマジックで手書き、製本し手元に届きます。お子さん1人に1冊どうぞ!

♪ 10月・11月のありんこ情報 ♪

☆ありんこ広場 (0歳~3歳対象) ☆すくすく広場 (1歳未満対象・妊婦さんの見学可) ☆のびのび広場 (2歳~3歳対象)

10月2日(金) すくすく広場	10月5日(月) ママの日♪	10月7日(水) ありんこ広場	10月9日(金) かもめ号
10月14日(水) ありんこ広場	10月21日(水) ありんこ広場	10月28日(水) ありんこ広場	10月30日(金) のびのび広場
11月2日(月) ママの日♪	11月4日(水) ありんこ広場	11月6日(金) すくすく広場	11月11日(水) ありんこ広場
11月18日(水) ありんこ広場	11月20日(金) かもめ号	11月25日(水) ありんこ広場	11月27日(金) のびのび広場
11月30日(月) 計測			

* 密にならないよう間隔をとり「広場」をおこないます。「すくすく広場」では毎月5名を定員とし「手作り絵本教室」を開催します。図書館司書さんが教えてくれます。わが子に1冊の「手作り絵本」をどうぞ。妊婦さんも是非参加下さい。材料用意の都合がありますので「すくすく広場」の1週間前までに参加の申込みをして下さい。

* 10月21日の「ありんこ広場」は社会福祉協議会主催「ママのためのカルチャースクール」で『感染症について』の講話です。

* 毎週火曜・水曜・木曜日の13時~16時30分まで一時預かりを行っています。幼稚園行事の際に、下のお子さんの午前預かりもします。事前にお申込み下さい。

お問い合わせ先: 羅臼町子育て支援センター『ありんこ』 TEL88-1515

知床らうす国保診療所通信

～みんなで育む・みんなの診療所～

受診時のお願い

受診される患者様・ご家族の方は、マスク着用をお願いします。また、受付場所に設置してあります消毒液をご利用ください。

お熱がある患者様は、事前電話をしてください。相談内容により、受診の有無や時間・場所の調整をさせていただきます。直接来院された場合、状況により一旦車等で待機していただくこともありますので、ご了承ください。



木島所長外来のお知らせ

- 外来診療日：月～金曜日
(水曜日・訪問診療日を除く)
- 患者様と相談の上、町役場保健師・栄養士協力のもと、食事などの生活改善にむけた取り組みを始めています。

子どもの予防接種間隔変更のお知らせ

厚生労働省による定期接種実施要領の改正に伴い、10月1日より接種間隔制限が一部撤廃されます。ご不明な点は、診療所もしくは役場保健福祉課へお問い合わせください。

知床らうす国保診療所の理念

1. 私たちは、町民の皆さまが生涯にわたり住み慣れた地域で、健康で安心した生活をおくることができるように、関係機関と連携しより良い医療・保健・福祉サービスの提供をめざします。
2. 患者さまが安心してかけられる、安全で質の高い、思いやりと笑顔あふれる診療所をめざします。
3. 職員が気持ちよく仕事のできる職場づくりをめざします。

診療所では、理念のもと、定期的な勉強会を開催しています。写真は、「医療安全」に関する勉強会を開催した様子です。



～予約・お問い合わせ～

知床らうす国保診療所 Tel87-2116



地域とともにある学校づくり 〜羅臼町学校運営協議会設立〜

未来の担い手となるための資質や能力を育む「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、令和2年6月26日（金）に羅臼町学校運営協議会を設立しました。

学校運営協議会とは、学校運営方針や育てたい子ども像などについて話し合い、学校と保護者と地域が連携し学校づくりを目指すものです。

子ども達の様々な課題を学校と家庭だけの問題とせず、地域全体の責任として取り組む必要があることから、学校と地域の連携・協働の仕組みが必要であり、地域住民や団体からの学校支援を求めていきたいと考えています。

当町は、幼小中高一貫教育を推



▲中谷 洋平さん



▲加瀬 里紗さん



▲田中 英輔さん

進んでいますので、町として1つの協議会を設置し、各園・各校は、部会として学校（園）ごとに組織し、校長（園長）のリーダーシップのもと、取り組みを進めてまいります。

また、学校と地域をつなぐために、地域コーディネーターを配置しました。羅臼幼稚園・羅臼小学校区には、中谷洋平さん。春松幼稚園・春松小学校区には加瀬里紗さん。知床未来中・羅臼高校区には田中英輔さんの3名です。地域の皆様のご協力をお願いいたします。

部会では、地域住民や団体からの支援により、学校や幼稚園教員の負担を軽減させ、子ども達にと

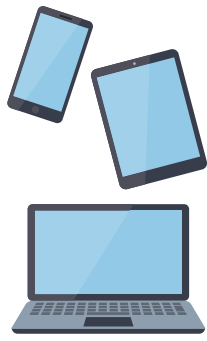
ってより良い教育環境を実現し、また、子ども達が地域と関わる中で、コミュニケーション力や思考力を高め、学力向上を図る活動を行います。これらの活動は、子ども達が地域を知ることによって将来の地域産業の担い手づくりにもつながるものと考えています。

各地域におかれましては、大人の学びの場として学校を活用するなど「学校を核」とした地域づくりを行っていただき、地域と学校の連携による様々な相乗効果で、より一層の地域コミュニティの活性化につなげていただきたいと思います。

羅臼町学校運営協議会 名簿

役職等	氏名	所属	役職等	氏名	所属
会長	島倉 一彰	羅臼町PTA連合会会長	委員	中西 将尚	(公財)知床財団羅臼地区事業部部长
副会長	宮腰 實	羅臼町連合町内会会長	委員	官代 真由美	羅臼幼稚園園長
副会長	濱屋 修司	羅臼町社会教育委員の会兼図書館協議会会長	委員	高原 美樹	春松幼稚園園長
委員	萬屋 昭洋	羅臼漁業協同組合代表理事組長	委員	野呂 幸生	羅臼小学校校長
委員	小川 雅勝	羅臼町商工会会長	委員	植島 博幸	春松小学校校長
委員	大野 貴史	(一社)知床羅臼町観光協会会長	委員	滝 泰英	知床未来中学校校長
委員	西家 祐一	羅臼町水産加工振興協会会長	委員	三浦 治彦	羅臼高等学校校長

任期：令和2年4月1日～令和3年3月31日まで



☆ただし、**貸出中**と表示される本に限ります。

貸出中

これまで図書館に直接申し込む必要があった本の予約をお手持ちのスマートフォンやパソコン画面から気軽にできるサービスです。(1人5冊まで)

新サービス！ 本のウェブ予約とは

せっかく図書館に行っても話題の本や人気作家の本がいつも貸出中であっかり…そんな経験はありませんか？
そんな時は、ウェブ予約をご利用ください。返却されたら、すぐにご連絡します。

人気の本もパッと予約！ ウェブ予約サービス開始！

お手持ちのスマホやパソコンで
(^o^)/

予約の流れ

＜手続き方法＞

初めて図書館を利用される方は、カウンターで利用者登録をし、その際「WEB予約パスワード通知書」を受け取って下さい。

すでに登録済みの方は、利用者カードをご提示の上、通知書を受け取って下さい。

＜予約から受け取りまで＞

- ① 通知書に記載されたIDとパスワードを使って本を予約する。 ※詳細下記
- ② 本の準備ができたら、図書館から電話等の連絡が来る。
- ③ 希望の場所（図書館・郷土資料館・かもめ号巡回場所）で本を受け取る。

図書館は、
平日夜7時まで
開いているよ！



ウェブ予約（実践編）

① 図書館ホームページで借りたい本を探します。

図書館HPへは
コチラから



② その本が借りられている場合、画面Aのような**貸出中**の表示が出ているので、その場合のみウェブ予約ができます。

③ 本のタイトルをクリックすると次の画面Bに移るので、下の方の**予約**をクリックします。

④ 画面Cに予約する人のID（利用者カードの番号5ケタ）と図書館で発行したパスワードを入力して予約申し込みをクリックします。

⑤ 画面Dが出たら、申し込み完了です。

予約受付が完了しました。

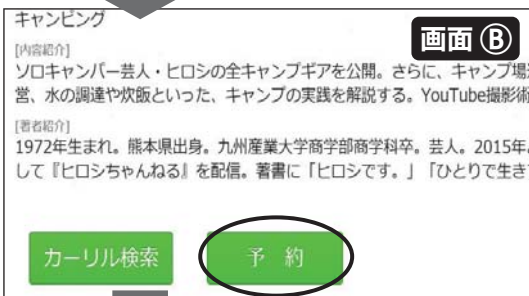
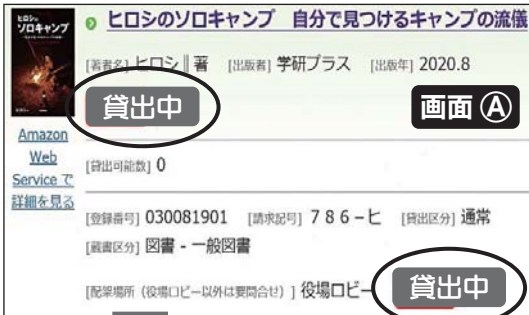
画面D

貸出できる状態になりましたら、お知らせいたします。

戻る

問合せ

羅臼町図書館 TEL 87-2004
FAX 87-2256



あしたへつながる防災知識

第23弾

災害に備えていますか

皆さんは日頃から災害に備えていますか？令和2年7月3日から7月31日にかけて熊本県を中心に発生した集中豪雨「令和2年7月豪雨」や、9月上旬に九州や中国地方の一部へ被害をもたらした「台風10号」。災害はいついかなる時に起きるか予測できません。災害での被害を減らすためには、日頃から災害への備えが必要です。

災害への備え方

災害により自分や家族への被害を減らすためには、家の中でも災害を意識することが必要となってきます。家族で話し合い、お互いの安否確認方法や避難経路、避難場所の確認をし、災害に備えましょう。

1. 家具の固定はしていますか？

タンスなどの高さがあり、倒れてくる危険性がある家具は固定しましょう。また、地震などの振動によって落ちてくるかもしれない物は高いところに置かないようにしましょう。

2. 食料や飲料などの備蓄は十分ですか？

大規模災害発生時には、1週間分の備蓄が望ましいとされています。日頃から自宅の備蓄品を確認しておきましょう。また、食料や飲料だけでなく、生活に必要で便利な物（トイレットペーパーやマッチ、カセットコンロなど）も備えましょう。

3. 非常用の持ち出しバッグは準備できていますか？

地震で津波が家に押し寄せてくるなど、家を離れ、避難しなければならない状況になった時のために、食料や飲料などの飲食物や、救急用品などを非常用バッグに入れていつでも持ち出せるように用意しておきましょう。



1日防災学校

令和2年9月10日に羅臼小学校で「1日防災学校」が実施され、全校生徒が防災に関する授業を受けました。

グラウンドでは陸上自衛隊釧路駐屯地、中標津警察署、株式会社ドコモ北海道釧路支店、羅臼消防署の協力を受け、災害時に活躍する特殊車両を展示していただきました。生徒たちは特殊車両に積んである普段見ることのできない道具や、乗ることができない特殊車両に乗せてもらい、説明を受けるなど、驚いた様子で特殊車両について学んでいました。

5年生は3時間目に役場防災担当による防災備蓄品の説明を受け備蓄食品の試食をし、4時間目に段ボールベッドの組み立てを行いました。生徒たちは自分たちの力だけで作成した段ボールベッドに寝そべり「このまま寝ちゃいそう！」と、楽しそうに備蓄品について学んでいました。



▲特殊車両展示



▲ダンボールベッド作り

災害はいつ起きるか予測できません。町民の皆様もさらなる防災知識を身につけ、災害に備えていきましょう。

羅臼町役場 総務課 防災担当

わたしたちが

地域おこし協力隊です

NATURE RAUSU

暑い日が続いていますね。夜、窓を開けて寝ていたら足の小指を蚊に刺されて、痒いというより痛い、地域おこし協力隊の加茂です。最近、登山と釣りにハマっています！



近隣では羅臼岳や硫黄山、斜里岳に登りましたが、中でも羅臼岳登山は、天気も良く羅臼と斜里の景色が見えて最高の気分でした！登山自体は散歩感覚でしたが、日差しがキツく日焼けが辛かったです。

さらに、海釣りを始めてみたくて仲の良い町民の方や役場職員に釣りを始めたいと話していたら、みんな丁寧にラインの結び方や仕掛け、魚の習性などを教えてくれたので、8月の終わりに釣りデビューしました！

自宅近所の海で、初海釣りをトライしてみたら2時間くらい経過して、カラフトマスが釣れました！ただ、釣り上げたはいいものの魚の捌き方を知らないのをご近所さんに教えてもらいながら捌きましたが難しいですね！家事ができる男になるには程遠いです。では、🙌

(企画振興課地域おこし協力隊：加茂)



自然を守り自然に守られる暮らし

7月17日のかぎおろしの昆布漁から完成までの工程に密着させていただいています。

ちょっとおかしいと思われるかもしれませんが、昆布の事を知れば知るほど人生に似ているなと思ってしまいます。

採れたての昆布は、母親である海の栄養をたっぷりと吸収しぷるぷるに潤い、うまれた喜びや新しい世界への希望に満ち溢れている赤ちゃんの様に私には見えました。

繰り返される日入れや庵蒸、ヒレ刈りに加え重石まで乗せられる約23工程の修行のような100日間を乗り越え、旨味や香りが凝縮し横たわる昆布の姿にはかなりの貫禄を感じました。

余計な水分は蒸発し、ヒレは取り除かれ、必要なものだけが残り完璧な姿に近づいていく昆布を見て、私も自分の人生について考えさせられました。昆布には捨てるどころがなく、取り除かれたヒレまでも美味しくいただく事が出来るというのもなんだか納得です。

すべては私の勝手な想像なのですが、その様に思う事で昆布を育てる海や太陽に感謝する事が出来ますし、昆布をより一層美味しくいただく事が出来るので幸せです。

先日昆布のお話を伺っているときに面白い事を聞きました。昆布漁師は昆布を夜露にあて湿らせる事を“湿りを取る”と言うそうです。“取る”と聞くと取り除く事とイメージしてしまいましたが逆の意味だということです。人間目線で見ると“取る”は取り除く事ですが昆布目線で見ると“取る”は取り入れる事になります。単なる言葉の綾なのかも知れませんが昆布に感情移入し始めている私にとっては昆布を愛しているが故の言い方なのかなと思えてなりません。

そんな昆布も魚と同じ様に、年々減ってきてしまっているという話を伺いました。とても悲しい事です。なんとかして守っていかなければいけないと思います。自然からの素晴らしい恩恵をいつまでもいただけるように、微力ですが出来ることを探している日々です。

(産業創生課地域おこし協力隊：土井)



ふるさと 第1章最終話

忘れもしないあの時代、あの日
当時の記憶を元島民の声で



筆者紹介

千島歯舞諸島居住者連盟 たかおか ただいち 高岡 唯一氏

昭和10年に歯舞群島多楽島で生まれる。昭和20年まで北方領土の1つである「歯舞群島 多楽島」で過ごし、第2次世界大戦終了後、当時のソ連軍の侵略により同年9月に根室市へ引き揚げる。その後羅臼町に移り住み、現在に至る。

毎年、修学旅行生や北方領土返還要求県民会議などの青少年に対し、年10回程度の語り部講師を務めるなど北方領土返還要求運動の啓発・普及に日々活躍している。

私が北方領土問題について関心を持ち、深く関わるようになったのは、根室から羅臼に転居後、国後島を毎日のように観て生活するようになった年、1956年の日ソ共同宣言が調印され、10歳だった私も成人を迎えた頃のことです。当時のことを知る引揚者の1人であることから、日本と連合国との条約・協定・宣言などを勉強し、村田吾一翁、谷内田進大先輩から領土問題や返還運動の話聞き、知識を深めていきました。

「ソ連が第2次世界大戦に参戦した1945年当時、日本とソ連の間には日ソ中立条約が結ばれていましたが、8月8日に同条約を一方的に無視して参戦し、8月15日、日本が連合軍のポツダム宣言を受諾し、降伏終戦したにも関わらず、ソ連は戦勝国との主張で北方四島に上陸占拠し、強制撤去手段で元島民を追い出しました。」

上記のように当時の話を実体験も交えながら語りかけることで、多くの方に事実を知ってもらい、「いかにソ連が不法行為で北方四島を占拠したか」「北方四島は歴史文献上絶対日本の領土であり、ソ連の不条理な主張に屈してはならない」そんな思いから語り部を始めました。

5月号から3回にわたって当時の記憶、当時の想いを元島民の声で語りかけてもらいました。次号からは、北方四島交流等事業使用船舶について連載していきます。

町では協働のまちづくりを推進しています。
ここでは、町民や団体が自らの意思で「協働のまちづくり」を
実践している方々を中心に取り上げ掲載していきたいと考えて
います。みなさんも「協働のまちづくり」にご参加下さい！

8月3日(月)

プレミアム付商品券販売 ～プレミアム率30% お得にお買い物～

新型コロナウイルス感染症が世界中に蔓延したことにより低迷した地域経済への影響を緩和し、地域における消費を喚起・下支えすることを目的にプレミアム付商品券の販売が行われました。

プレミアム付商品券の使用期限は令和3年1月31日まで、取扱い店舗は89店舗。皆さんお得にお買い物して、町内の経済を回復させましょう。

羅臼町プレミアム付商品券



8月8日(土)

らうすの夜彩る ～コロナの早期終息を願い～

羅臼建設業協会主催のもと悪疫退散花火が羅臼のまちに打ち上げられました。

海の上に打ちあがった大輪の花火は、町民の心に焼き付き、夏を感じさせる時間となりました。



8月21日(金)

町内観光スポットの景観維持

旭川建装株式会社の皆さんが町内観光施設の塗装作業を実施してくれました。

町内で作業が予定されていたことから、自らの技術「塗装」を行い羅臼町に貢献できないかと考え、いくつかの観光施設の中から多くの観光客に利用されている「しおかぜ公園」、「クジラの見える丘公園」の2か所で作業を実施。

色が落ちていた手すりも新品同様に生まれ変わり、夏の観光シーズンに気持ちよく観光客の方に利用してもらうことができました。

ありがとうございます。



中学校3年生最後の大会終わる!!

今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で「中体連」が中止となりました。しかしながら部活動は6月8日に再開し、練習に励んでおりました。そして、「中体連」の代わりに3年生が出場できる最後の大会が、それぞれの大会名称で8月1日・2日及び22日に開催されました。3年生は練習期間も短く、例年とは違う形での集大成の場となりましたが、最後の大会に臨みました。各競技と大会成績は次のとおり。

- ・野球「根室管内チャンピオン決定戦」 準決勝敗退
- ・バレーボール「FCVB大会」 決勝リーグ敗退
- ・テニス「令和2年度根室地区ソフトテニス大会」
男子の部 佐藤・寺上組準優勝 松山・加我組10位
女子の部 田中・小林組優勝 下町・広陵中生徒組10位
- ・バスケットボール「あおぞらチャレンジカップ」 初戦敗退



川北中、標津中と合同チーム 3年生のみが出場的女子
で出場した野球部 テニス部

《国民健康保険証の切替はお済みですか?》

- ・7月に「国民健康保険証」を郵送しております

国民健康保険に加入されている世帯の世帯主の方あてに国民健康保険証を郵送しておりますのでご確認ください。

- ・国民健康保険税や町税等を滞納している方(世帯)には、保険証は郵送しません

役場にて、納税相談等を行ったあとに交付しますので来庁して下さい。

国民健康保険税の滞納状況等により、保険証の有効期限が短くなっていますので、納税相談を実施してから更新となります。

- ・「資格証明書」の交付対象者(世帯)は、保険証が発行されません

病院等に受診した場合は、「資格証明書」を提示して、10割負担となります。

10割負担をした領収書を国保係に持参して下さい。7割分の還付の手続きを行い、還付金を税に充当します。

資格証明書は、保険証の短期交付の方(世帯)で、納税状況等が悪質だと判断された方(世帯)に交付されます。

【税務署からのお知らせ】 ◇国税に関する申告・面接相談は、「事前予約」が必要です!

税務署では、納税者の皆様にお待ちいただくことなくスムーズに申告・面接相談できるよう、原則として「事前予約制」を実施しております。

申告・面接相談を希望される方は、所轄の税務署に電話で相談日時を予約してください。

なお、予約状況により、希望の相談日時に添えない場合がありますので、ご了承願います。

【休日窓口・夜間窓口のお知らせ】

9月	・休日窓口	9月27日(日)	午前9時から午後5時まで
	・夜間窓口	9月30日(水)	午後7時まで
10月	・休日窓口	10月25日(日)	午前9時から午後5時まで
	・夜間窓口	10月30日(金)	午後7時まで

〈お問合せ先〉役場税務財政課 TEL87-2113

ご意見ありがとうございました

新型コロナウイルスの補助金に関して、町の対策の速さにほんとうに感謝しております。

今回の感染症予防対策補助金においても、とても良い対策だと思っております。

どうもありがとうございます。

海鮮福箱も遠方から毎年来て下さるお客様にプレゼントしましたら大変喜んでいただきました。

笑顔の食卓だったそうです。

役場町政ご意見箱へ投函された内容(8月分)

ヒグマの対応状況をお知らせします



ヒグマの目撃・出没状況、捕獲状況や対策などの情報を2ヶ月毎にお伝えしていきます。また、ヒグマの出没がなくなる1月に今年度の総括としてご報告する予定です。



7月、8月のヒグマ対応状況

◆対応件数89件（前年度133件）

- ◇熊の湯の河川沿いにてヒグマがエゾシカを採食していたため、追払いを実施
- ◇幌萌町、春日町、礼文町、海岸町、岬町で痕跡確認
- ◇知床横断道路、峯浜町、北浜以北で目撃多数

7月、8月のヒグマ被害状況

◆被害件数0件（前年度6件）

7月、8月のヒグマ駆除状況

◆駆除件数3件（前年度5件）

- ◇北浜北部にて海岸に出没し、作業期間であり安全性を考慮して1頭を駆除
※のちに出没地周辺に生ごみの投棄が確認された
- ◇峯浜町にて追い払いを受けても再度出没したため1頭を駆除
- ◇峯浜町にて何度も出没し、逃避行動もしないため1頭を駆除

クマ対策のお願い

- 生ごみは外に置かない、魚は2階などクマが届かない場所に干す、草刈りを行うなど、ご協力をお願いします。
- 住宅用の電気柵を知床財団で貸し出ししています。詳しくは知床財団（87-2828）まで※数に限りがありますのでご了承ください。

24時間対応

ヒグマの目撃やシカなどの動物の死骸を発見した際は、
役場 産業創生課（87-2126）までご連絡下さい。

会員募集 !!

札幌らうす会、東京らうす会

『札幌らうす会』『東京らうす会』は、各地域に住む羅臼町出身者や羅臼町を応援していただける方で構成され、生まれ育った羅臼を応援したい、羅臼の方達と交流を図りたいとの思いから、各イベントでのPR活動や交流会など様々な活動に取り組まれています。

近年は、羅臼町からどなたが移住してきているのか分からないため、お声掛けもできず会員不足に悩まされており、事業の実施が厳しくなっています。

皆様のご家族やご友人で札幌・東京近郊にお住まいの方がいらっしゃいましたら、ぜひ紹介いただき羅臼を応援する『らうす会』の輪を広めていただけませんか。

また、両会と連携する地元の組織として『故郷らうす協力会』も広報の送付や各会の総会へ参加し交流・情報交換などの活動をしています。故郷らうす協力会へもぜひご参加いただければと思います。

ご紹介いただける場合は、各会へ直接ご連絡いただくか、産業創生課（故郷らうす協力会）でも受け付けておりますので、気兼ねなくご連絡ください。

《お問い合わせ先》

●札幌らうす会 事務局
sapporo_rausukai@yahoo.co.jp

●東京らうす会 事務局
rausu@tokyo-rausu.jp

●故郷らうす協力会 事務局
産業創生課 TEL:0153-87-2126

おくやみ申し上げます



赤ちゃん誕生



(敬称略)

町長室



『海水温』

今年は春から夏にかけて天気も良く、暑い日が多かったように思います。海が荒れることも少なく漁師仕事ははかどったのですが、時化がないと海水が混ざり合わないため海水温が高いままなのです。そのため海流が変わってしまい魚種が変わり、獲れるはずのない魚を多く見かけるようになりました。災害を起こすような大荒れは困りますが、適度に海水が混ざり合って、本来獲れるはずの魚たちが来遊して、羅臼の浜が大漁で活気あふれてほしいですね。

(町長)

人の動き

令和2年8月末現在 ()内は令和2年7月末対比

人口 4,781人 (-10) 男 2,382人 (-7)
世帯 2,057世帯 (-11) 女 2,399人 (-3)

編集後記

隣町のスーパーに出かけた際、利用客の口元にはマスクが。着替えをして自宅を出るように、マスクを着用して外に出ることが当たり前の生活となりすっかり違和感は無くなったように思います。世間では、マスクの着用をめぐるトラブルとなることも・・・全員が気持ちよく生活するためにも、早くいつも通りの生活に戻って欲しいものです。(A)

羅臼町民憲章

(昭和45年9月15日制定公示)

わたくしたちは、雄大な知床連峰と、オホーツクの海原の大自然にはぐくまれた、羅臼の町民です。

- 自然を愛し先人の強い意志ををうけつぎます。
- 健康で明るくたのしい家庭をつくります。
- 教養を高め、豊かな情操を育てます。
- 仕事に誇りをもち、はたらく喜びに生きます。
- 子どもたちの夢と、若い力を育てます。



世界自然遺産のまち・知床羅臼町

■広報らうす 令和2年9月号

編集／羅臼町 企画振興課 企画振興係
〒086-1892 目梨郡羅臼町栄町100番地83
☎0153-87-2114
<https://www.rausu-town.jp/>